



地域をまもる道づくり

安心して日常生活を営めると共に
雪、地震、水害などの災害に強い安全な地域づくりを進めます。

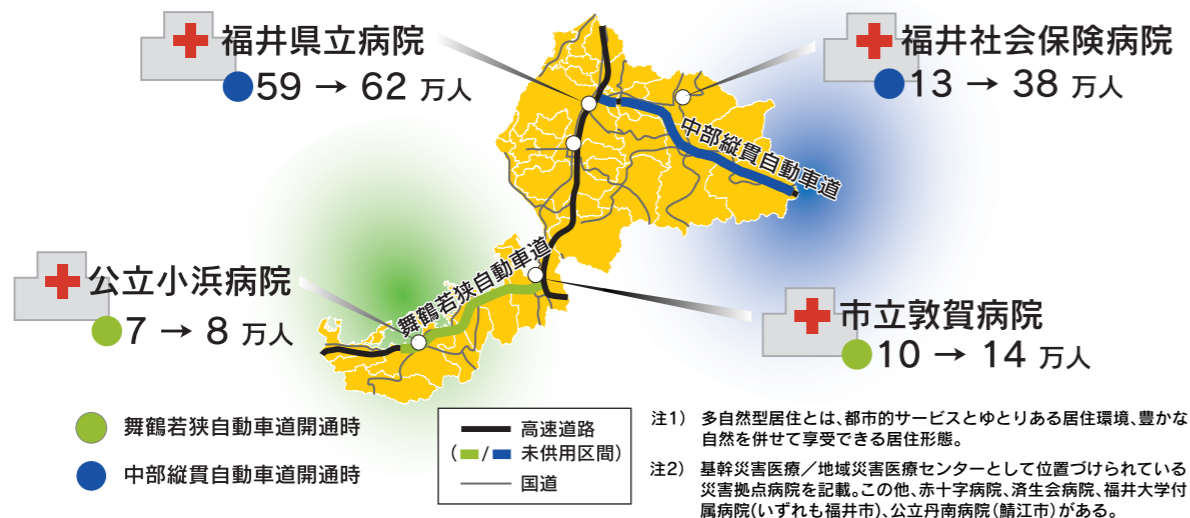
主な施策

- ・舞鶴若狭自動車道、中部縦貫自動車道の整備
- ・雪寒対策の推進
- ・代替路線の整備
- ・バリアフリー化の推進
- ・交通不能区間の解消

基本目標1 過疎・高齢化・多自然型居住^{注1)}への対応

災害や雪に強く、緊急時の迅速な移動を可能にし、生活の安心感を高めます。

例えば…… 医療施設^{注2)}から30分行動圏域拡大によるカバー人口



基本目標3 耐雪力の向上

雪に強い道づくりを推進します。

例えば…… 冬期の交通確保のため、雪崩防止や消雪施設の整備を進めるとともに
情報提供サービス等を行います。



無散水消雪(福井市)
道路に埋設したパイプに地下水などを通して雪を融かします。



雪みち情報ネットふくい
道路利用者へ冬期の道路情報を伝えるため、県のホームページ「雪みち情報ネットふくい」を充実します。

基本目標2 複数ルート¹⁾の確保 — 選択の多様性の確保 —

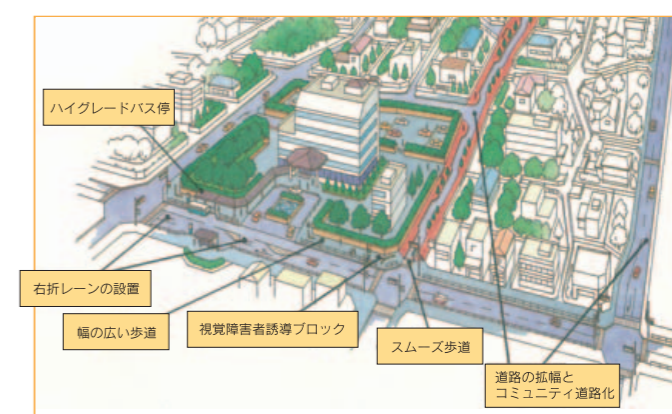
代替路を選択できるような道路ネットワークの形成を図ります。

例えば…… 冬期間の道路交通の確保(木ノ芽峠)



基本目標4 誰もが使いやすいデザインの採用 —ユニバーサル・デザイン—

歩道の拡幅などにより、高齢者や身障者にもやさしく使いやすい道路空間をつくります。



道路のバリアフリー化

アップルロード(福井市)
歩道の拡幅や段差の解消を行うとともに、自動車交通を抑制します。